

森中生 勉強がんばっています



【1年英語 インタビュー】



【2年国語 扇の的】



【3年技術 プログラミング】

11月は落ち着いて学習に取り組むことができる月と言われています。本校では知識や技能の習得はもちろんですが、考える力や表現力を高めるべく、授業改善に努めています。高校入試の学力検査でも、かつては「何を覚えているか」を問う問題が多かったのですが、現在は「なぜそう考えたのか」「どんな課題を見出しているか」を問う問題になってきているのですから、暗記だけでは太刀打ちできません。そこで、写真にあるように、自分で考えた英文でジュン先生にインタビューしたり、意味を理解した上で感情を込めて古文を音読したりしています。さらに、技術では自分でプログラミングをしてゲームをつくっています。

そうはいっても、学力の基盤となるのは、やはり各教科の「基礎・基本」になります。授業で学んだことを確実に自分のものにするには、繰り返し学習が必要で、そのために家庭学習を重視しています。教科書や解答を写し書きするのではなく、内容の濃い家庭学習を継続できるように、ご家庭でも励ましていただきたいと思います。

新しい生徒会役員・学級役員選出



【立ち会い演説会の様子】



【投票の様子】



【新旧の委員長の引き継ぎ】

新生徒会役員と学級役員が選出され、令和3年度の後期の体制が整いました。立ち会い演説会では、立候補者みんなが大変立派な態度で、これなら森吉中を背負って立つことができると確信しました。役員に任せっきりになるのではなく、全校生徒が参加・協力していこうと決意を新たにしました。また、各種委員会の委員長も選出され、前委員長から仕事を引き継ぎました。学校の活性化に期待を抱かせました。

「おかしも」を守って 避難訓練



9日、生徒玄関付近から出火という想定で避難訓練を行いました。あいにくの天気だったので、避難場所は体育館。真剣に整然と避難することができました。訓練を指導して下さった森吉分署の五十嵐消防士さんから、800年前の地震に関するお話を伺いました。鴨長明が記した「方丈記」に大地震の記載があるそうです。鴨長明は「地震は災害の中で一番怖い」「30日ほど余震が続いたが、揺れが収まると誰も地震のことを話題に出さなくなった」と記しているそうです。災害の怖さを忘れず、訓練を続けていくことが、いざというときの力になるとお話ししてくれました。

校長先生からは、「消防車が森吉中に到着するまで5分。その間に、素早い避難と素早い点呼をする必要がある」「非常口が冬囲いでふさがれる季節になるので、どこから避難するのか確認しよう」というお話がありました。火事を起こさないことはもちろん、いざというときの心構えについても考えた訓練になりました。



トイレ改修

3階の音楽室前のトイレ改修が終わり、生徒は早速使用しています。男女とも、便座の一つが洋式になりました。生徒に話を聞いたところ「めっちゃいいすよ!」と、サッパリした笑顔でお話ししてくれました。今後、1・2階教室棟トイレ、体育館前トイレと工事が進んでいく予定で、1月下旬まで続きます。生徒には、丁寧な使用と清掃をしていこうと、声をかけています。



来週の行事



○認知症サポーター養成講座

15日(月)6時間目に2年生が受講します。北秋田市健康福祉部と森吉民生児童委員会の主催です。認知症に対して正しく理解し、高齢者を手助けできる技能を学び、相手の立場に立って考えることができる人材育成のために実施します。

○学びや森吉

16日(火)6時間目に全校生徒が受講します。「生き方講座」としてすっかり定着しました。今年は、本校卒業生の高杉拓磨さんと白沢尚大さんが講師です。地元で農業経営をしながら、いろいろなことにチャレンジして地域を元気にしようがんばっている青年です。

○SOSの出し方講座・受け方講座

19日(金)6時間目に1年生が出し方講座を受講します。放課後に保護者と職員が受け方講座を受講します。北秋田市医療保健課の保健師や精神保健福祉士がお話をしてくれます。受け方講座では、子どもが出しているSOSを受け取る私たち大人の気付き方や対応について学びますので、多数の御参加をお待ちしています。詳細は10月29日にお便りを出していますので御覧ください。

冬の足音が聞こえてきました。油断しないで健康管理、感染症委対策をしましょう。